

付録



競技会で使用する略語・略号

競技会で使用する略号例 (2025 年度改訂)

記録用紙やスクリーンには、次のような略号を用いて簡潔に表記する。その際、観客や競技者が意味を理解できるように、使用する略号を説明した一覧表等をプログラムに記載する。

1. スタートリスト・記録用紙・スクリーンなどに用いる略号 (CR25.4)

略 号	日 本 語 表 記	意 味
D N S	欠 場	Did Not Start
D N F	途中棄権 (トラック競技・道路競技)	Did Not Finish
N M	記録なし	No valid trial recorded
D Q	失 格	Disqualified
O	成功・有効試技 (走高跳・棒高跳)	Valid trial in High Jump and Pole Vault
×	失敗・無効試技	Failed trial
—	パ ス	Passed trial
r	試技放棄(離脱)(フィールド競技・混成競技)	Retired from competition
Q	順位による通過者	Qualified by place in Track Events Qualified by standard in Field Events
q	記録による通過者	Qualified by time in Track Events Qualified by performance in Field Events
qD	抽選による次ラウンド進出者	Advanced to next round by draw
qR	審判長の決定による通過者	Advanced to next round by Referee
qJ	ジュリーの決定による通過者	Advanced to next round by Jury of Appeal
>	ベントニー (競歩)	Bent knee (Race Walking)
～	ロス・オブ・コンタクト(競歩)	Loss of contact (Race Walking)
Y C	警 告	Yellow card
Y R C	2回目の警告	Second Yellow card
R C	レッドカードによる失格	Red card
L	レーン侵害(TR17.3.3、TR17.3.4)の適用	Lane Infringement (TR17.3.3、TR17.3.4)
P	抗議中の競技	Competing under protest

※備考

- ① 競技者が規則違反で失格になった場合は、相当する規則番号を明記する。

例：「DQ TR16.8」

「DQ FS」(以下の「3.失格の理由を示す略号の例」を使用) など

なお「反スポーツマンシップ行為及び不適切な行為」(TR7.1)で失格になった場合はその理由について公式記録に明記する。

- ② 「Q、q」について

・トラック競技の場合 (例：3組2着+2)

Q：各組2着以内の競技者 (Qualified by place)

q：3着以下で記録が上位の競技者2名 (qualified by time)

(JAAF-35①, 2025/4)

・フィールド競技の場合

Q: 予選通過標準記録突破者 (**Qualified by pre-set standard**)

q: TR25.15 による決勝進出者 (**qualified as per TR25.15**)

予選通過標準記録を突破した競技者が 12 名に満たない場合、決勝進出者を 12 名とすることから、予選通過標準記録突破者に「**Q**」を、TR25.15 による決勝進出者に「**q**」をつける。

③ 競歩競技のベント・ニー(>)、ロス・オブ・コンタクト(~)について

(>)、(~)の略号は競技運営上、競技者にパドルや掲示板で示す場合や、記録用紙に違反マークとして使用される。電光掲示板やリザルトに失格の理由が表示される場合は、「**DQ**」と「**K1~K5**」(以下の「3. 失格の理由を示す略号の例」を使用)の表記などが用いられる

2. 新記録などの略号例

略 号	日 本 語 表 記	意 味
P B	自己最高記録	Personal Best
S B	今季自己最高記録	Season Best
W R	世界記録	World Record
= W R	世界タイ記録	Equal World Record
W J R	U20世界記録	World U20 Record
= W J	U20世界タイ記録	Equal World U20 Record
N R	日本記録	National Record
= N R	日本タイ記録	Equal National Record
N J R	U20日本記録	National U20 Record
= N J	U20日本タイ記録	Equal National U20 Record
N Y R	U18日本記録	National U18 Record
= N Y	U18日本タイ記録	Equal National U18 Record
G R	大会記録 ◆	Game Record
= G R	大会タイ記録	Equal Game Record
◆ 記録に付随して用いる略号		
(W)	WA公認日本記録	非WRk競技会でマークされた日本記録がWRk競技会でマークされた記録を上回る場合(W)(J)を付けて区別する
(J)	日本陸連公認日本記録	
(Mx)	男女混合レースマークされた女性の記録	Mixed gender race
(Wo)	女性だけのレースでマークされた記録	Women only race
◆ 競技会規模や性格により異なる大会記録略号の例		
G R	国体など	Game Record
C R	選手権大会	Championship Record
M R	ゴールデングランプリなど	Meet Record

※備考④ 競技会が行われる年の 12 月 31 日現在で、「U20」は 18 歳あるいは 19 歳、「U18」は 16 歳あるいは 17 歳の競技者のこと。「U20」の記録は 19 歳以下、「U18」は 17 歳以下の競技者が出した時に認定される。

(JAAF-35②, 2025/4)

3. 失格の理由を示す略号の例

失格の理由を示す略号は、主催団体が決めてよい。

以下はあくまでも参考例であり規則ではなく、「DQ TR16.8」のように表記してもよい。
 前述のとおり、略号を使用する場合は、観客や競技者が略号の意味を理解できるように、
 略号を説明した一覧表等をプログラムなどに記載すること。

略号例	内 容	規則番号
FS	不正スタート	TR16.8
T1	他の競技者を妨害した	TR17.1
T2	TR17.3.3またはTR17.3.4を適用した後の2回目の違反	TR17.3
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	TR17.5
T5	競技者が自らの意思でトラックから離脱した	TR17.6
T6	ハードルをすべて越えなかった	TR22.6
T7	足または脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置にあった	TR22.6.1
T8	手や体、振り上げ脚の前側でハードルを倒したり移動させた	TR22.6.2
T9	自分または他のレーンのハードルを倒したり移動させて妨害した	TR22.6.3
T10	水濺と障害物をすべて越えなかった	TR23.7
T11	水濺と障害物を越える際に規則違反があった	TR23.7.1または7.2
R1	テイク・オーバー・ゾーン内でバトンパスが完了しなかった	TR24.7
R2	バトンを落とした際に規則違反があった	TR24.6
R3	コーナートップで並んだ際に規則違反があった	TR24.20または21
K1	ロス・オブ・コンタクトで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K2	ペント・ニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K3	ロス・オブ・コンタクトとペント・ニーで3名以上がレッドカードを出した	TR54.7.1
K4	ロス・オブ・コンタクトで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1
K5	ペント・ニーで競歩主任が単独で失格にした	TR54.4.1

(JAAF-35③, 2025/4)

世界記録・アジア記録・日本記録が公認されるための要件 確認リスト

※世界記録・アジア記録はワールドランギングコンベンションで達成された記録であること (TR11.1 [国際])

【トラック競技】 ○…必須 / …なくともよい

要件	世界記録	世界記録 sh	U20 世界記録	U20 世界記録 sh	アジア記録	アジア記録 sh	U20 アジア記録	U20 アジア記録 sh	日本記録	日本記録 sh	U20・U18 日本記録 sh	U20・U18 日本記録 sh
軌跡計測用の適用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軌 (アジア陸連) への公式な記録申請	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軌のクラス2以上の施設であること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計測装置とゼロコントロールテストの重量提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドーピングコントロールテストの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軌跡計測装置の使用 (800m (4×200m) リレー 4×400m (1レーン) を含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SIRSに適合されたシステム (4×400m) を含む	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非制限の風速計の使用 (200mを含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人項目で名以上、リレー項目でチーム以上の参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
身分番号項目ではないこと (TR8に適用分あり)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軌跡項目は少なくとも3人のMGコートまたはシルバールールの終止審判員が審判を始める	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※オリンピック種目のみ

○…必須 / …なくともよい

要件	世界記録	世界記録 sh	U20 世界記録	U20 世界記録 sh	アジア記録	アジア記録 sh	U20 アジア記録	U20 アジア記録 sh	日本記録	日本記録 sh	U20・U18 日本記録 sh	U20・U18 日本記録 sh
軌跡計測用の適用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軌 (アジア陸連) への公式な記録申請	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軌のクラス2以上の施設であること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドーピングコントロールテストの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非制限の風速計の使用 (200mを含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人項目で名以上の参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計測方法 (鋼線製造尺、または高度計で計測し、3人の審判員が確認。または、光学計測装置で計測)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投てき物の再検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※オリンピック種目のみ

【ロード競技】 ○…必須／…なくてもよい

事象	世界記録	U20 世界記録	アジア記録	U20 アジア記録	日本記録	U20・U18 日本記録
自転車競技の適用	○	○	○	○	○	○
U20 (アジア陸連)への公式な招待書	○	○	○	○	○	○
オリンピックロードレースの適用	○	○	○	○	○	○
U20種目で2名以上、リレー種目で2チーム以上の参加	○	○	○	○	○	○
CR31.14.1で定められた計測方法	○	○	○	○	○	○
CR31.14.1で定められた計測方法	○	○	○	○	○	○
最少種目は少なくとも3人の混合チームまたはシルバー	○	○	○	○	○	○
レベルの競歩審判員が審判を務める	○	○	○	○	○	○
コースの自転車計測 (W/AIN計測員または5名)	○	○	○	○	○	○
コースの条件 (セパレーション・レベル)	○	○	○	○	○	○
※理路整歩は1周1km以上2km以下	○	○	○	○	○	○
レース当日のコース確認 (W/AIN計測員により)	○	○	○	○	○	○
コースが正しくなされているか確認	○	○	○	○	○	○
コースの再計測 (総計1人含む2人以上で計測され、	○	○	○	○	○	○
当日うち1人が設置確認を実施した場合は不要)	○	○	○	○	○	○

*オリンピック種目のみ

※ロードレースの途中計時については、記録がみとめられることがあるので、CR31.20.5, CR31.21.6を確認のこと。

※国外で日本記録 (U20・18を含む) ショートトラックでの日本記録) を上回るか同等の成績を記録した場合には、本連盟事務局に即時連絡すること。

と。

競技会開催に関する公認申請

加盟団体あるいは協力団体が直接主催する公認すべき競技会および、それらの下部組織が主催する公認すべき競技会について、加盟団体あるいは協力団体は、事前にそれぞれの競技会要項が公認競技会開催のすべての条件を満たすものであるか審査を行う。加盟団体あるいは協力団体が管轄するすべての公認すべき競技会を一次申請時は本連盟公認競技会システムに締め切り期日までにエクセルデータにまとめてアップロードを行う。一次申請以降の追加・修正・中止時は大会開催前までに随時更新を行い、本連盟競技運営委員会にて承認を行う。毎日午後1:00に承認された競技会が本連盟ホームページで確認できる。ホームページに掲載された競技会のみが国内の公認競技会として認定される。

例外として加盟団体あるいは協力団体が管轄する主要な駅伝競走の競技会もここに掲載する（駅伝競走は、検定されていない距離の使用、公認コースを使用しない場合がある点において例外である）。

(1) 開催が認められる競技場

公認競技会が開催される競技場は、別途本連盟に申請され認可を受けたものでなければならない。競技場の公認には期限があり、競技会の開催日がこの期限内にあることが条件となる。諸事情により、競技場の公認期限が切れて新たな申請の延長願いが出される場合があるが、この延長期間に公認競技会を開催することはできない（詳細は本連盟施設用器具委員会に問い合わせること）。

(2) 道路競走に関する留意事項

ロードレースなどの道路競走の開催申請にあたっては、実施される各距離の中でも本連盟の検定を受けている距離についてのみを競技会名に続いて（距離）の形で示す。

〔記載例〕※（ ）内が検定を受けている距離

第55回青梅マラソン（30 km, 10 km）

第71回元旦競歩大会（20 km, 10 km, 5 km）等

主催者はエントリーの際に競技者の登録の有無を確認する。プログラムに登録者であることがわかるように表示する。登録者は所属団体名・登録都道府県名を表記する。未登録者は所属

名を表記しないことが望ましい。

(3) 競技会コードに関する事項

すべての公認競技会は特有の競技会コードを持つ。競技会コードは8桁の数字で表され、上の2桁は西暦年の下2桁を利用する。
例：2025年→25となる。そのあとの2桁は以下の（参考）にある各加盟団体または学連の番号、5桁目から8桁目は2025年度から新たに各加盟団体で競技会コードを付与し運用するように変更となった。従来使用していた【50】は全国規模の大会に付与していたが、今後はその運用を行わないこととした。

（参考）

地域	都道府県コード（2017より国体方式に変更）						
1 北海道	北海道 01						
2 東 北	青森 02	岩手 03	宮城 04	秋田 05	山形 06	福島 07	
3 関 東	茨城 08	栃木 09	群馬 10	埼玉 11	千葉 12	神奈川 14	山梨 15
4 東 京	東京 13						
5 北 陸	新潟 16	長野 17	富山 18	石川 19	福井 20		
6 東 海	静岡 21	愛知 22	三重 23	岐阜 24			
7 近 畿	滋賀 25	京都 26	大阪 27	兵庫 28	奈良 29	和歌山 30	
8 中 国	鳥取 31	島根 32	岡山 33	広島 34	山口 35		
9 四 国	香川 36	徳島 37	愛媛 38	高知 39			
10 九 州	福岡 40	佐賀 41	長崎 42	熊本 43	大分 44	宮崎 45	鹿児島 46
	沖縄 47						

日本学生連合 地区学生連盟コード

学連 60	北海道 61	東北 62	関東 63	北信越 64	東海 65	関西 66	中四国 67
	九州 68						

執筆 日本陸上競技連盟運営委員会

編集 審判ハンドブック編集プロジェクトチーム

リーダー：関 隆史

サブリーダー：中村 拓也

メンバー：黒澤 達郎, 佐藤孝洋

監修：(副委員長) 本橋 郁子

協力 日本陸上競技連盟施設用器具委員会

日本陸上競技連盟医事委員会

陸上競技審判ハンドブック 2025-2026 年度版

2025 年 4 月 1 日 第 1 版第 1 刷発行

発行 公益財団法人日本陸上競技連盟

〒 160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9 階

電話 050-1746-8410

制作・販売 株式会社陸上競技社

〒 101-0051 東京都千代田区神田神保町

3-2-6 丸元ビル 2 階

電話 03-5215-8881

印刷／製本 株式会社東京印書館

© 日本陸上競技連盟 2025

乱丁、落丁が万一ありましたら、お取り替えいたします。

文章、図版の無断転載を禁じます。

定価はカバーに記載しています。

ISBN978-4-9913895-2-8 C2075 Printed in Japan

フィールド競技試技時間表(票)

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の競技。

** 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で同一の高さのみ適用する。

*** 優勝が決まって、一人となり大会記録などに挑戦する場合は1分を追加する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人または連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の競技。

** 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の競技。

** 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で同一の高さのみ適用する。

*** 優勝が決まって、一人となり大会記録などに挑戦する場合は1分を追加する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人または連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の競技。

** 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の競技。

** 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で同一の高さのみ適用する。

*** 優勝が決まって、一人となり大会記録などに挑戦する場合は1分を追加する。

混成競技

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人または連続試技**	2分	3分	2分

* 4人以上または各競技者の最初の競技。

** 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。